



季節を知ったら
暮らしが楽しくなった

（第三一七号）

雨水

二月十九日

伊勢和紙

暦の上の春、立春から、雨水へ。寒さがゆるむと、暖かい日差しで川や池の水が温んでみえるようになります。

先日、珍しい手すき和紙のはがきをいただきました。海藻をすき込んだ和紙です。和紙の原料である、山野に生えるコウゾやミツマタなどの樹皮に、海の子藻を混ぜて、淡い緑色とグレーの模様付の手すき和紙に仕上げたのです。早春の「水温む」季節に似合うように思いました。

伊勢には、三重県の伝統工芸に指定されている「伊勢和紙」があります。伊勢神宮の御用紙奉製所となっている、外宮前の大豊和紙工業が製造している和紙です。

「伊勢和紙」の歴史は明治初期、伊勢神宮の御札を神宮司庁が一括して全国に頒布するようになったことから始まります。大豊和紙工業は、明治三十二年（一八九九）に「神都製紙株式会社」として、御師の龍太夫邸跡に創立しました。それまでは御師が御札を自らの檀家に配布する仕組みでしたから、明治の神宮改革で新たに伊勢に生まれた産業といえます。

製紙は、古くはもっぱら樹皮を原料にして人の手による手すきでした。大豊和紙でも二人の職人が手すきをしています。冬の季語には「三桎剥ぐ」「三桎蒸す」などがあり、ミツマタの樹皮を剥いて、刈り取り、蒸す作業は風物詩でもあったことがわかります。

この「暮らしのぞき箱」も、じつは「伊勢和紙」。大豊和紙工業の機械すき和紙に印刷したもののなのです。ミツマタはあと一カ月ほどで黄色い花を咲かせます。

文 千種清美



おかげの里便り

おかげ横丁

○ ひなまつり

平安時代から受け継がれてきたひなまつり。

桃の花や可愛い飾りで彩られ、いつもより華やかになり心浮き立つおかげ横丁で桃の節句をみんなで祝い、女の子の健やかな成長を祈る催しを楽しんでください。

と き／2月22日(土)～3月3日(火)

10:00～17:00 (催しによって異なります)

ところ／おかげ横丁一帯

● 桃の節句市

可愛い雛人形や雛飾りの他、雛あられやひし餅などのひな菓子を揃えた市です。女の子の節句にふさわしい色とりどりの商品を集めました。

と き／2月15日(土)～3月3日(火) 10:00～17:00

ところ／赤福別店舗

● お雛さまに大変身

お雛様やお内裏様の衣装で記念撮影ができる毎年大人気の催しです。

と き／2月22日(土)～3月3日(火) 10:00～17:00

(16:30受付終了)

ところ／伊勢路名産味の館2階「大黒ホール」

参加費／1,000円 (特製台紙付き写真プレゼント)

五十鈴塾

○ 「漢方」の不思議な世界2

漢方薬には、腫れや痛みをとったり、血流を良くしたり、婦人科や皮膚科の症状・加齢による症状を改善したり、ストレスを緩和して不眠を解消したりする処方があり、その多彩さに驚かされます。自然な成分の生薬(動植物や鉱物)をいくつか組み合わせる漢方は、なぜ効くのでしょうか。それぞれの生薬の、個性的で不思議な働き方を紹介します。東洋医学では、症状は体からの「SOS」と捉え、原因となる体質や五臓六腑での偏りを改善して直します。この「SOS」に早く気づいて対応すれば、関連する症状が深まらずに乗り越えることができます。早めに体のサインに気づけるようなお話をお伺いします。「漢方の不思議な世界」。健やかに過ごすための参考にしましょう。

と き／2月19日(水) 13:30～15:00

講師／栗田 淳子 (漢方薬局ユクル薬剤師)

参加費／一般1,600円 会員1,100円 (食品の試飲つき)

集合／五十鈴塾右王舎

※お問い合わせ・お申込み 0596-20-8251

五十鈴茶屋

○ 節気菓子

うめ
梅ごよみ

薄紅色の輕羹^{かるかん}で、白小豆を散らした羊羹を巻き、今が盛りと咲く、美しい梅花に見立てました。

つばきもち
椿餅

こし餡を道明寺で包み、椿の葉ではさみました。源氏の君も召されたであろう、風雅至極の椿餅です。

な はな
菜の花

菜の花の色に習い、村雨を淡く染め、粒餡を包みました。そよ風が頬を撫でる、のどけき田園の春模様です。